

## パブリック・バンク(PUBM)

カンボジアとベトナムで多店舗展開の土台の上で、RCEP協定発効による中国・アセアン連携強化の恩恵を期待  
マレーシア | 銀行 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG PBK:MK | REUTERS PUBM.KL

- 2021/12期9M（1-9月）は、総収益が前年同期比14.6%増、純利益が同14.8%増。不良債権処理費用が増加も経費率の改善が増益に寄与。
- 純金利マージン拡大と貸出増により純金利収益が前年同期比18.8%増、イスラム金融からの純収益が同30.2%増と全体の増収に貢献。
- 中央銀行の利上げ期待に加え、カンボジアおよびベトナムで多店舗展開の土台の上で今年元旦発効のRCEP協定の恩恵が期待されよう。

### What is the news?

11/29発表の2021/12期9M（1-9月）は、総収益が前年同期比14.6%増の94.91億MYR、営業費用が同3.0%増の30.04億MYR、貸倒等引当金繰入額が同64.9%増の9.21億MYR、純利益が同14.8%増の42.75億MYR。純金利収益、イスラム金融からの純収益が増収に寄与した。利益面では6月からのマレーシア全土での完全移動制限令（FMCO）の影響を受けた与信環境悪化に伴う不良債権処理関連費用が増加したものの、経費率が同5.2ポイント低下の31.7%と改善したことが増益に貢献した。3Q（7-9月）の前四半期比では、純収益が3.9%減。貸倒等引当金繰入額が17.3%減だったものの、純利益は1.7%減となった。貸出資産の質の面では、不良貸出比率（グロス）が前期末比0.03ポイント低下改善の0.33%となった。

9Mの総収益の内訳は以下の通り。①純金利収益が前年同期比18.8%増の62.29億MYR。純金利マージン（NIM）が前年同期比0.06ポイント拡大の2.15%となったことに加え、貸出残高が前期末比3.0%増だったことが増収に寄与した。②イスラム金融からの純収益が同30.2%増の12.24億MYR。③非金利収益が同2.9%減の20.38億MYR。投資信託（ユニット・トラスト）やコミッション収入に係る純フィー・コミッション収入は堅調に伸びたものの、金融商品に係る投資利益の減少が響いた。

### How do we view this?

マレーシア国立銀行は1/20、翌日物政策金利を1.75%と9会合連続で据え置いた。新型コロナウイルス感染予防対策の緩和により昨年4Q（10-12月）に経済活動が上向いたと指摘し、今年は経済成長の勢いが増すとの見通しを示した。22年後半の利上げが見込まれており、純金利マージン拡大を通じてパブリック・バンクの収益拡大への寄与が期待される。

同子会社「カンブ・バンク」はカンボジア最大の外国銀行の座を維持し、21年9月末で前年末比横ばいの31店舗を展開。同社はベトナムにも注力しており、子会社の「パブリックバンク・ベトナム（PBVN）」は21年9月末で同横ばいの26店舗。アセアン10カ国と中国・韓国・日本・豪州・ニュージーランドが参加の「地域的な包括的経済連携（RCEP）協定」が22年元旦に発効したことの恩恵を享受しやすい立場と言えよう。

### 業績推移

※参考レート 1MYR=27.23円

事業年度	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12F	2022/12F
当期利益(百万MYR)	5,590	5,511	4,872	5,569	5,724
EPS (MYR)	0.29	0.28	0.05	0.29	0.30
PER (倍)	14.48	15.00	84.00	14.48	14.00
BPS (MYR)	2.11	2.25	2.43	2.57	2.71
PBR (倍)	1.99	1.87	1.73	1.63	1.55
配当 (MYR)	0.14	0.15	0.03	0.14	0.15
配当利回り (%)	3.33	3.57	0.71	3.33	3.57

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想 (MYR) **0.14** (予想はBloomberg)  
 終値 (MYR) **4.20** 2022/1/26

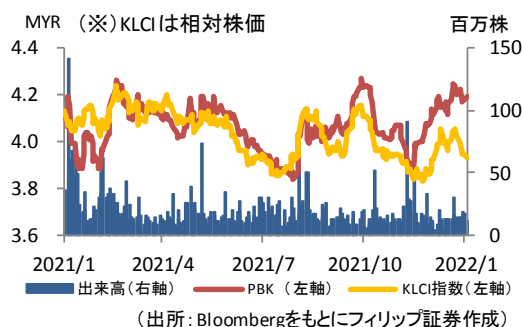
### 会社概要

1966年にTeh Hong Piowによって設立された大手商業銀行グループ。個人向け金融、イスラム金融、投資銀行業務、株式ブローカー業務、信託業務、株主名簿管理業務、ユニット投資信託事業、保険商品の販売など幅広い金融サービスを手掛ける。加えて、デジタル・バンキングサービスも拡張しており、同社のオンラインサイト「PB.e」やモバイルアプリ「PB engage」を通じてキャッシュレス決済などを提供している。消費者、零細企業（SMEs）向け金融、ユニット投資信託ではマーケットで主導的な地位を築いている。

2021年9月位末現在、マレーシア国内では262の支店と2,000超のATMなどセルフサービス拠点を展開。海外では香港・中国の83支店のほか、カンボジアでは31支店、ベトナムに26支店を展開している。

### 企業データ (2022/1/26)

ベータ値	1.32
時価総額(百万MYR)	81,525
企業価値=EV (百万MYR)	-
3か月平均売買代金(百万MYR)	69.4



### 主要株主 (2022/1)

1. CONSOLIDATED TEH HOLDINGS SDN BH	21.64
2. EMPLOYEES PROVIDENT FUND BOARD	15.25
3. KUMPULAN WANG PERSARAAN	4.08

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

### リサーチ部

笹木 和弘  
 kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 6980



【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。